

2022年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	ひがし北海道市民防災サポート
事業名	ひがし北海道防災スクール2022
課題テーマ	安心して暮らせる都市
事業提案の背景	千島海溝巨大地震・津波による被害が想定されている当市ではあるが、市民の防災・減災への自助・共助の取り組みは十分ではなく、意識向上が急がれます。
事業目的	遭遇してしまうかも知れない災害を正しく理解すると共に備えや避難行動といった自助の意識を高め、併せて被災時の支え合い・共助の必要性を考えるきっかけとなるものとする。
事業概要	災害対策を目と耳で感じそして体験することで身近なものと捉えるための講演、展示、体験コーナーを設けたオープンイベントとし、子供から高齢者まで世代を問わずに学んでいただける場とする。 開催日：令和4年9月23日
事業展開	・防災トーク…来場者向けに防災を学ぶ学習会 ・持ち出し袋チェックコーナー ・防災を学ぶ展示コーナー ・被災時の共助、災害ボランティアを学ぶコーナー ・防災情報の活用体験コーナー（釧路市 Web ハザードマップ等） ・その他、体験展示 など ◎感染対策として、検温・消毒、GCOA アプリ等の登録、換気、運営スタッフの健康確認を徹底します。
成果目標の達成状況	会場にはおよそ1,000名の来場があり、多くの市民に災害対策の必要性を感じて頂けたものと考えます。
波及効果の達成状況	アンケート回答者の96%が市民による災害対策の必要性を理解しており、今後の行動におけるヒントを得ていると考えます。
実施体制	ひがし北海道市民防災サポート事務局 代表、副代表2名、事務局スタッフ1名
連携した市担当課	総務部 防災危機管理課
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	広報協力、並びに防災情報、資料、資機材の提供 開催当日のブース出展、ステージイベントへの登壇

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	150,000	
自己資金	45,797	
合 計	195,797	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
消耗品費	16,911	コピー用紙、テープ等
印刷製本費	78,235	ポスター、チラシ、配布資料の印刷
役務費	14,705	郵送料、イベント損害保険
使用料・賃借料	71,720	レンタカー代、什器レンタル代
旅費	1,597	燃料代、駐車場代
小 計	183,168	
対象外経費		
飲食費	11,129	スタッフ、出演者昼食
広報費	1,500	クイズラリー抽選景品
小 計	12,629	
合 計	195,797	